

B エンジン

FL 燃料システム

フューエルシステム	2	フューエルタンク	9
・燃料漏れ点検	2	・取り外し、取り付け	9
フューエルゲージ・フューエルフィルター・		サービスデータ	11
フューエルポンプ ASSY	3	・基準値、限度値	11
・取り外し、取り付け	3	・締付トルク	11
・分解、組み立て	6		

A

FL

C

D

E

F

G

H

I

J

K

L

フューエルシステム

PPF:17503

燃料漏れ点検

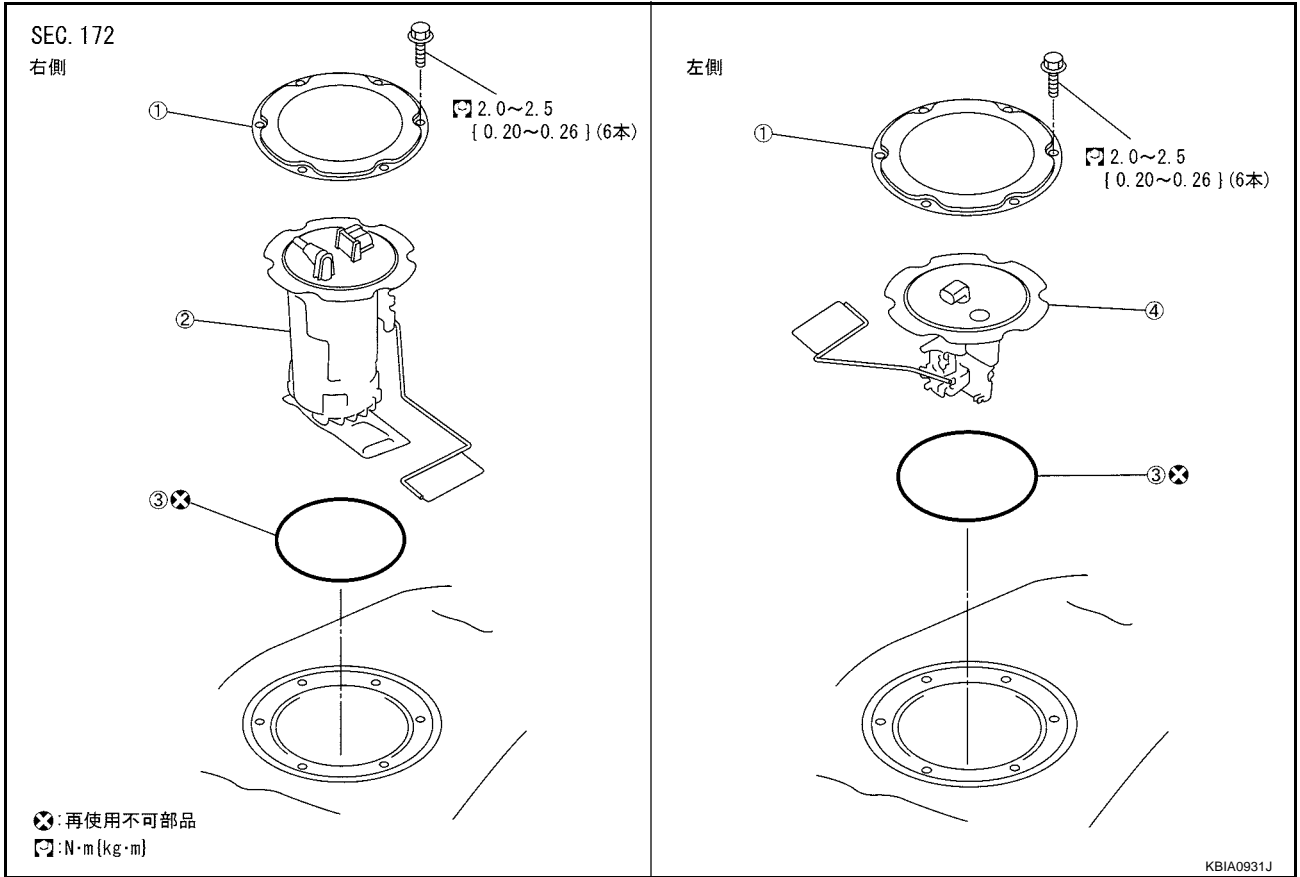
JBS00EJB

以下の項目を目視により点検する。

- キースイッチを ON (エンジン非始動状態)にし、燃料配管に圧力をかけた状態で燃料の漏れがないこと。
- エンジンを始動し、回転を上げたとき燃料の漏れがないこと。
- 燃料ホースに損傷、劣化がないこと。
- 各ホースクランプに緩みがないこと。
- フィラーキャップのシール部に劣化、き裂、損傷がないこと。
- 燃料配管固定用クリップに割れ、外れなどがないこと。

取り外し、取り付け

JBS00EJC



- 1. リテーナー
- 2. メインフューエルゲージ・フューエルフィルター・フューエルポンプ ASSY
- 3. Oリング
- 4. サブフューエルゲージ

取り外し

警告： 燃料系の部品を交換するときは、次に注意して行うこと。

- 「注意：可燃物有り」の表示をすること。
- 換気の良い火気のない場所で行うこと。
- 消火器をそばに置いて作業すること。
- 抜き取った燃料は安全な場所に保管すること。

注意： バッテリーのマイナス端子は外しておくこと。

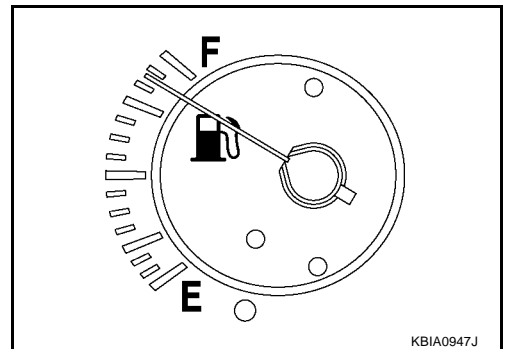
- 組み付けるとき、ホースやチューブを曲げたりねじったりしないこと。
- 水平な場所で作業を行うこと。

1. 水平な場所で燃料の残量を確認し、ゲージの表示が図の指針以上（残量が7/8以上）にある場合（満タン又は満タンに近い状態）は、図の指針以下になるまでフューエルタンクから燃料を抜き取る。

フューエルポンプ故障時には、給油口より外径 25mm 以下のホースを差し込み、フィルターチューブ内の燃料を抜き取る。更に、フィルターチューブとフィルターホースの接続部を外し、フィルターホースより燃料を抜き取る。

- 目安として満タンから20%程度抜き取ると図の位置以下となる。

参考：燃料満タン時の液面が、フューエルゲージ取付面より上にあるため。



KBIA0947J

フューエルゲージ・フューエルフィルター・フューエルポンプ ASSY

2. 燃圧を除去する。「基本点検」(EC-189 ページ) (VQ25DD・VQ30DD) 又は、「基本点検」(EC-17 ページ) (VQ25DET) を参照する。

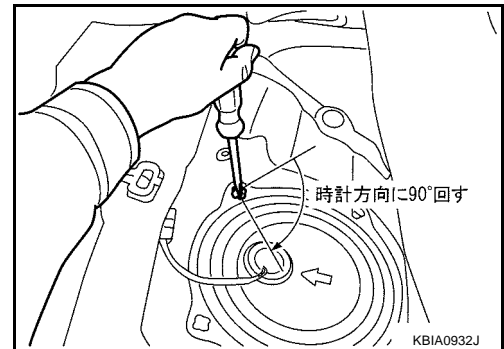
• 手順 1 で燃料を抜き取った場合は、手順 2 ~ 4 まで省略可。

3. フューエルフィルターリッドを開ける。
 4. フィラーキャップを開放し、フューエルタンクの内圧を抜く。
 5. リヤシートのシートクッション（座面）、フロアシートクロス（座面下の敷き物）を取り外す。
 6. インスペクションホールカバーを取り外す。

- マイナスドライバーでクリップを時計方向に 90° 回して脱着可能な位置にする。
- 作業対象により、左右いずれかのインスペクションホールカバーを取り外す。

右側 : メインフューエルゲージ・フューエルフィルター・フューエルポンプ ASSY

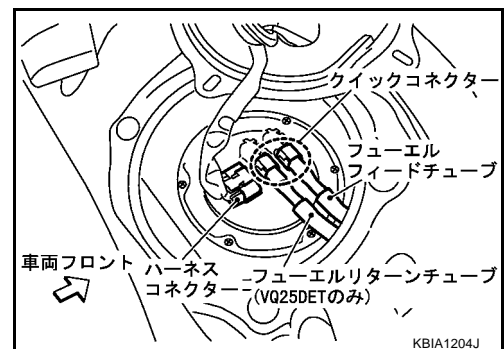
左側 : サブフューエルゲージ



7. ハーネスコネクタ及びフューエルチューブを外す。

参考: • 図は VQ25DET の右側を例に示す。

- フューエルリターン経路は無し。(VQ25・30DD)
- 左側はハーネスコネクタのみで、フューエルチューブはなし。



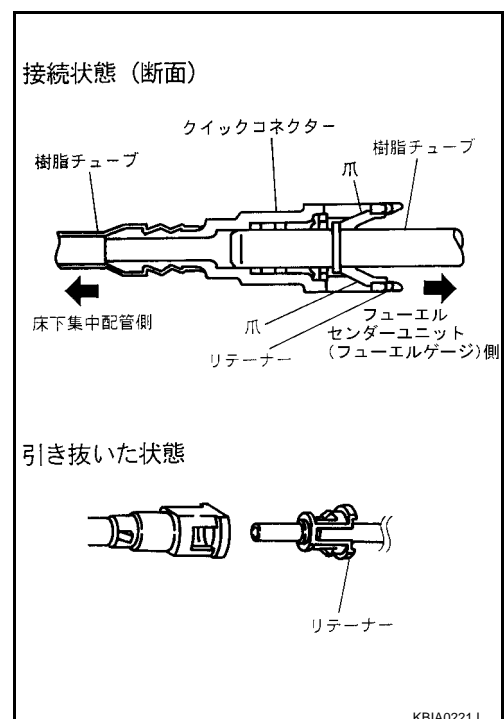
- クイックコネクタは以下の要領で外す。
 - リテーナーを指でつまんだ状態で引き抜く。
 - コネクタとセンサーユニット（フューエルゲージ）側チューブが固着している場合は数回押し引きして動く状態になってから引き抜く。

注意: • 樹脂チューブに熱源を近づけないこと。特に付近で溶接作業を行う場合は注意すること。

- 樹脂チューブにバッテリー液等、酸性の液体を付着させないこと。
- 脱着時、チューブを曲げたりねじったりしないこと。
- リテーナーは取り外さないこと。
- フューエルゲージを交換する場合はリテーナーも新品と交換すること。
- リテーナーは、交換前と同色のリテーナーに交換すること。

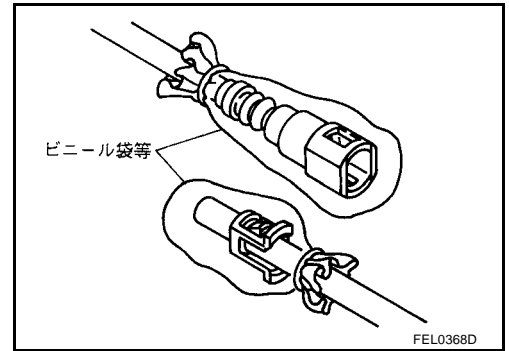
リテーナー色 : オレンジ（フィード側）
 : 白 （リターン側）

参考: リターン側は VQ25DET のみ有り。



フューエルゲージ・フューエルフィルター・フューエルポンプ ASSY

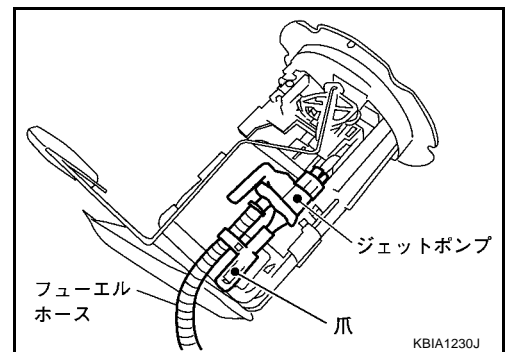
- 損傷、異物の付着を防ぐため、ビニール袋等で完全に覆う。



8. 以下の要領でメインフューエルゲージ・フューエルフィルター・フューエルポンプ ASSY、サブフューエルゲージを取り外す。

- 注意:**
- フロートアームを曲げないように取り外すこと。
 - 落下等の衝撃を与えないよう取り扱うこと。

- 右側（メインフューエルゲージ・フューエルフィルター・フューエルポンプ ASSY）
 - センダーユニットを持ち上げ、爪を押した状態で下に引いてジェットポンプを取り外す。
 - ジェットポンプはフューエルホースと共にフューエルタンク側に残す。
- 左側（サブフューエルゲージ）
 - センダーユニットを持ち上げて取り外す。



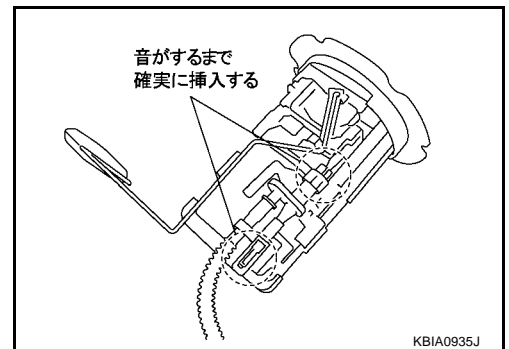
取り外し後の点検

- フューエルポンプのストレーナーに異物の付着がないことを確認し、付着がある場合は取り除く。

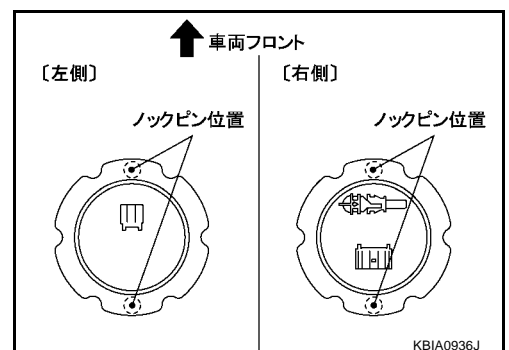
取り付け

以下に注意して取り外しと逆の手順で取り付ける。

- ジェットポンプは取付時、抜け止め爪が掛かった音がするまで確実に挿入する。

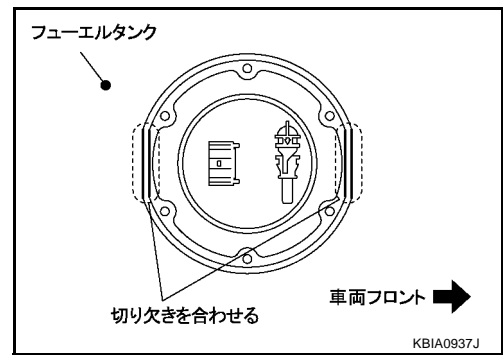


- フューエルゲージを図の方向に向け、裏面のノックピンとフューエルタンク側のピン穴を合わせて取り付け。

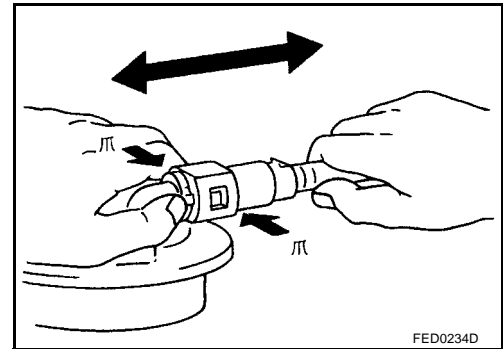


フューエルゲージ・フューエルフィルター・フューエルポンプ ASSY

- リテーナーは切り欠き部がフューエルタンクの切り欠き部と平行になるように取り付ける。(図は VQ25・30DD の右側を例に示す)
- リテーナー取付ボルトは均等に締め付ける。
注意: ボルトは純正部品を使用すること。
- クイックコネクターは以下の手順で接続する。
 - 接続部に損傷、異物の付着がないことを確認する。
 - コネクターと軸心を合わせ、「カチッ」と接続音がするまでチューブをまっすぐ挿入する。



- 接続後、以下の方法で確実に接続されていることを確認する。
 - リテーナーの爪が 2 箇所ともコネクターに接続されていることを目視で確認する。
 - チューブとコネクターを引っ張り、確実に接続されていることを確認する。

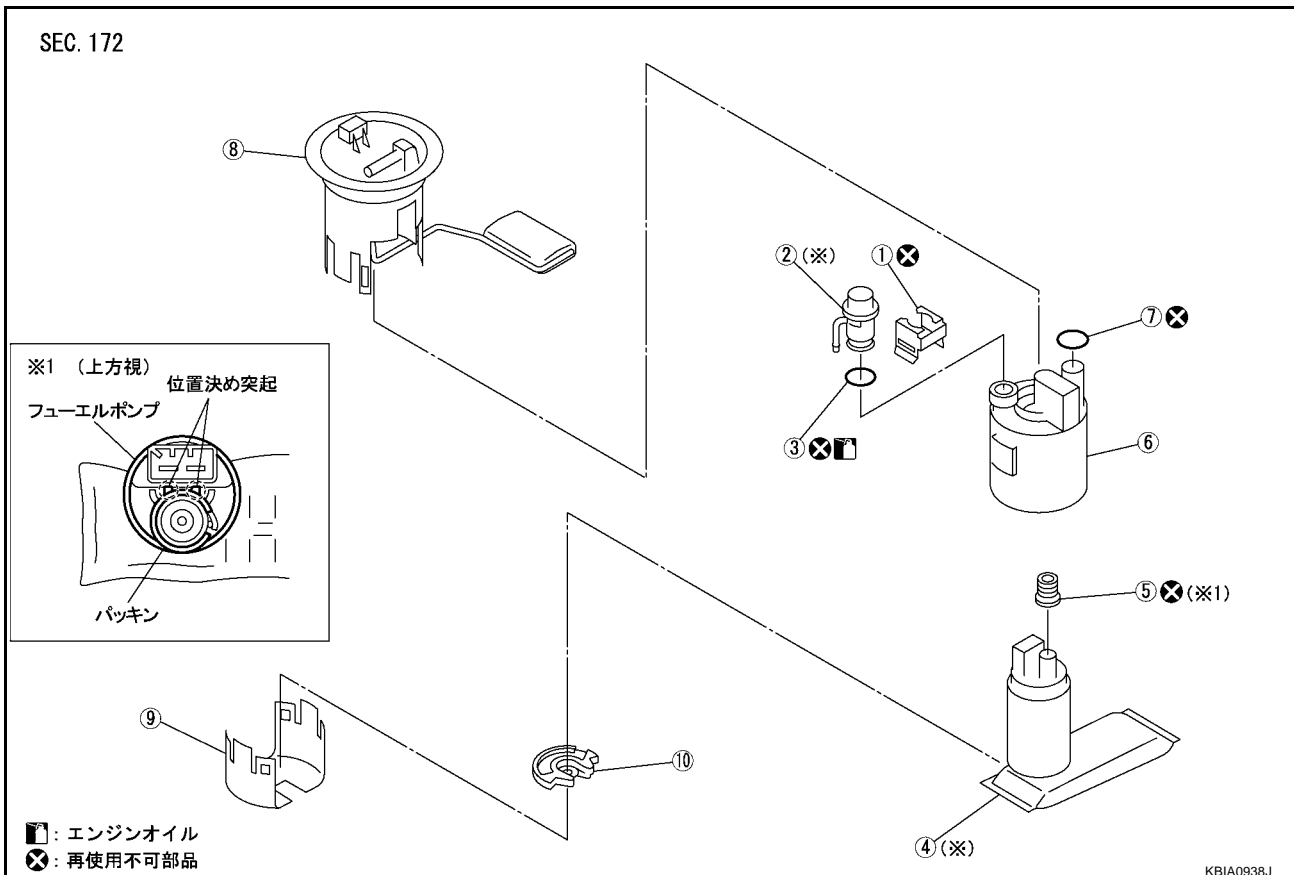


取り付け後の点検

- 以下の手順で燃料の漏れがないことを確認する。
 - キースイッチを ON (エンジン非始動状態) にし、燃料配管に燃圧をかけた状態で、接続部から燃料の漏れがないことを確認する。
 - エンジンを始動し、回転を上げた状態で、接続部から燃料の漏れがないことを再度確認する。

分解、組み立て

JBS00E.JD



フューエルゲージ・フューエルフィルター・フューエルポンプ ASSY

- | | | |
|---|--------------------|---------------|
| 1. クリップ | 2. 低圧プレッシャーレギュレーター | 3. Oリング |
| 4. 低圧フューエルポンプ (VQ25・30DD)
フューエルポンプ (VQ25DET) | 5. パッキン | 6. フューエルフィルター |
| 7. Oリング | 8. メインフューエルゲージ | 9. ブラケット |
| 10. ラバー | | |

参考：・サブフューエルゲージは非分解のため、以下はメインフューエルゲージ・フューエルフィルター・フューエルポンプ ASSY について記載する。

- ・ 図の 印のプレッシャーレギュレーター、フューエルポンプはエンジン駆動側と区別するためそれぞれ「低圧プレッシャーレギュレーター」、「低圧フューエルポンプ」と称する。(VQ25・30DD)
- ・ 以下文中、VQ25・30DD は「フューエルポンプ」を「低圧フューエルポンプ」と読み替える。

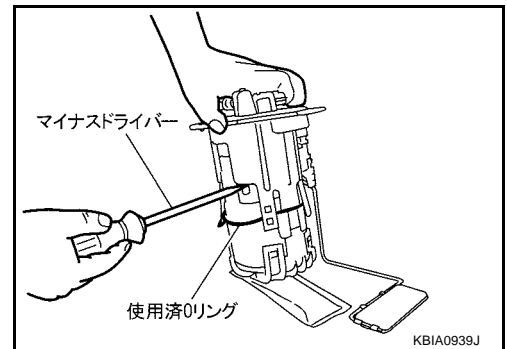
分解

1. 以下の手順でメインフューエルゲージを分離する。

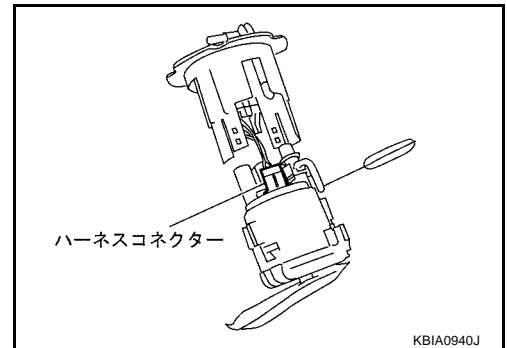
- メインフューエルゲージとフューエルフィルターの間に使用済みのOリング等を噛ませ、爪の引っかかりを外す。
 - ・ 取付時の参考用にメインフューエルゲージ側及びフューエルフィルター側外周に、合いマークを燃料等で消えない方法で付けておく。
- マイナスドライバー等をメインフューエルゲージとフューエルフィルターのすきまに入れ、分離する。

注意：・ 傷を付けないようウエス等を使用すること。

- ・ 分離する際、横方向の力をかけると内部の樹脂チューブ（メインフューエルゲージ～フューエルフィルター間）が折損する恐れがあるので、メインフューエルゲージはまっすぐ引いて分離すること。

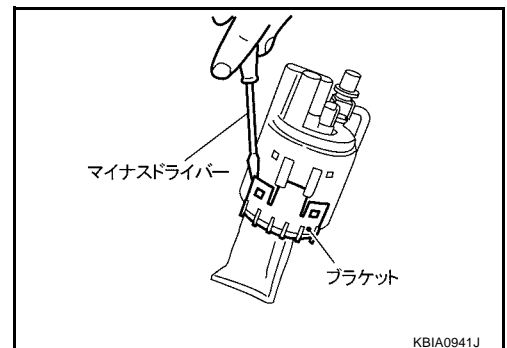


2. ハーネスコネクタをフューエルポンプ側で分離する。



3. フューエルフィルターとブラケット、フューエルポンプを分離する。

- ・ 図の部分（全4箇所）をマイナスドライバー等で持ち上げ、爪の引っかかりを外して分離する。
- ・ 取付時の参考用にフューエルフィルター側及びブラケット側外周に、合いマークを燃料等で消えない方法で付けておく。



4. フューエルフィルターから低圧プレッシャーレギュレーターを取り外す。(VQ25・30DD)

- クリップを開いて取り外す。
- 低圧プレッシャーレギュレーターをフューエルフィルターからまっすぐ抜き取る。

注意：・ フューエルチューブを損傷させないように取り扱うこと。

- 落下等、衝撃を与えないよう取り扱うこと。
- 分解、調整は行わないこと。

組み立て

以下に注意し分解と逆の手順で組み立てる。

- 分解時に付けた合いマーク及び各部品の位置決めを参照して各部品を組み立てる。

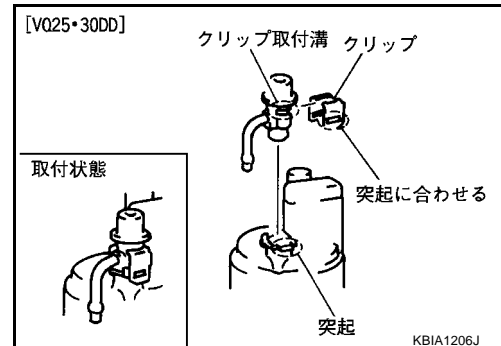
注意：各部品間の位置決めにより、一方向にしか組み立てられないので、位置が合わない場合は作業を進めず位置決めを確認すること。

- 各部品の爪を合わせて取り付け、「カチッ」と音がすることで確実に取り付けられていることを確認する。
- フューエルポンプのハーネスコネクタは確実に接続する。
- 低圧プレッシャーレギュレーターは以下の手順で取り付ける。
(VQ25・30DD)

1. Oリングを以下に注意してレギュレーターに取り付ける。

注意：• 新品と交換すること。

- 素手で取り扱うこと。(手袋の使用禁止)
- Oリング及び取付部品、相手方部品に異物の付着、傷がないか目視で点検すること。
- エンジンオイルを塗布して取り付けること。
- 損傷するような無理な外力(引っ張る、伸ばす等)をかけないこと。

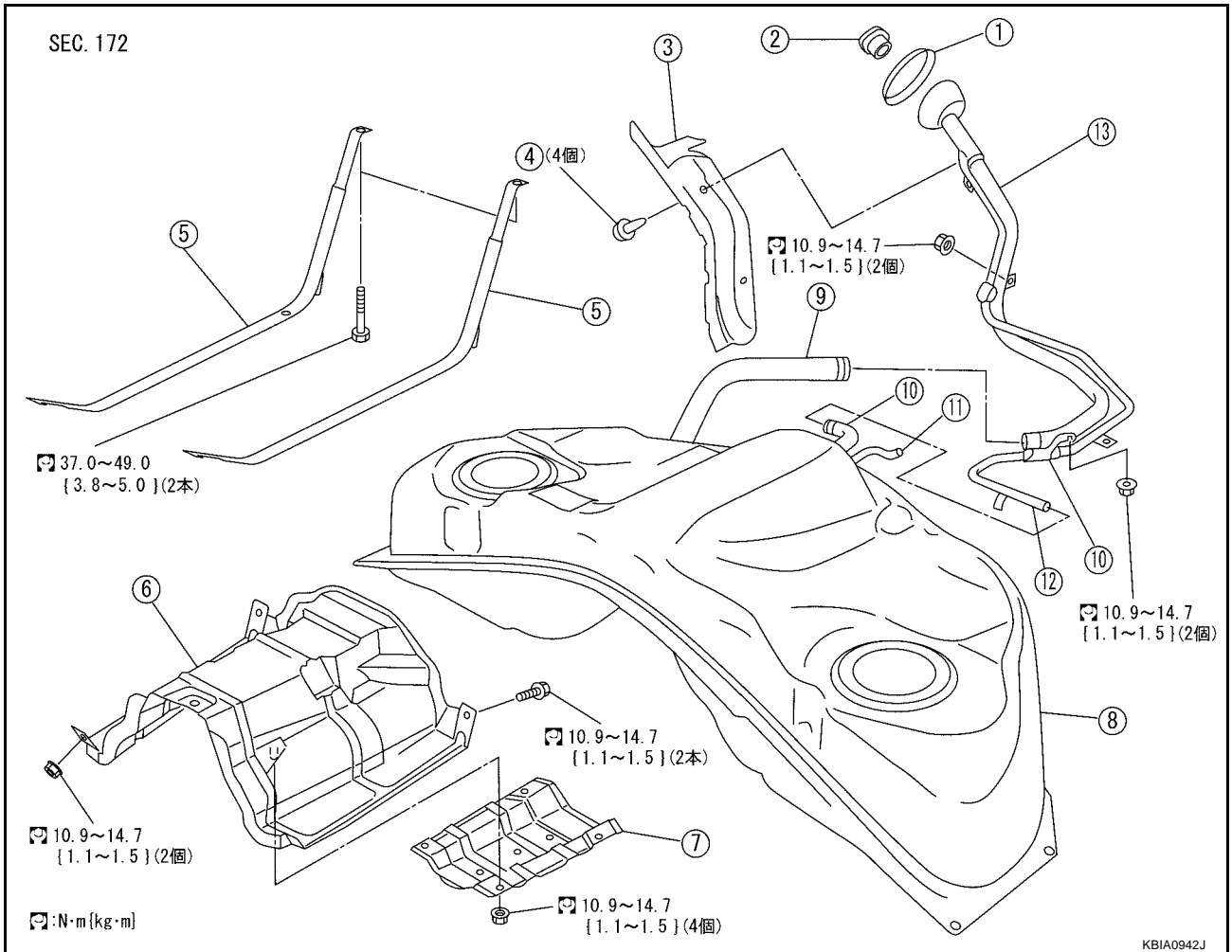


2. レギュレーター側の溝にクリップを挿入する。
3. クリップ装着状態で、フューエルフィルター側の突起とクリップ側の切り欠きが合うようにレギュレーターをまっすぐ挿入する。
4. フューエルフィルター側の突起とクリップ側の切り欠きが確実にかみ合った状態を確認する。

フューエルタンク
取り外し、取り付け

PF17202

JBS00EJE



- | | | |
|--------------|------------------|-------------|
| 1. グロメット | 2. フィラーキャップ | 3. プロテクター |
| 4. クランプ | 5. フューエルタンク取付バンド | 6. プロテクター |
| 7. インシュレーター | 8. フューエルタンク | 9. フィラーホース |
| 10. ベントホース | 11. エバポホース | 12. ベントチューブ |
| 13. フィラーチューブ | | |

取り外し

警告: 燃料系の部品を交換するときは、次に注意して行うこと。

- 「注意：可燃物有り」の表示をすること。
- 換気の良い火気のない場所で行うこと。
- 消火器をそばに置いて作業すること。
- 燃料を抜き取った場合は安全な場所に保管すること。

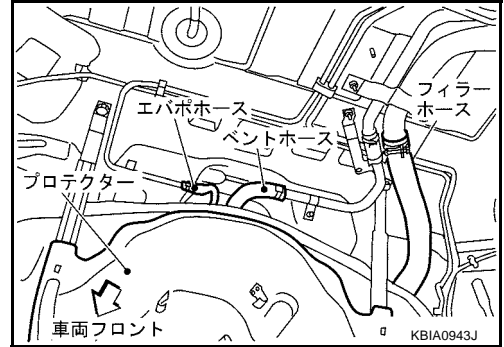
注意: • バッテリーのマイナス端子は外しておくこと。

- 水平な場所で作業を行うこと。

1. 「フューエルゲージ・フューエルフィルター・フューエルポンプ ASSY」[「取り外し」\(FL-3 ページ\)](#) の手順 1. から 7. を左右とも行う。
2. エキゾーストフロントチューブ、センターマフラー、メインマフラーを取り外す。
[「エキゾーストシステム」\(EX-2 ページ\)](#) を参照する。
3. プロペラシャフトを取り外す。[「リヤプロペラシャフト」\(PR-5 ページ\)](#) を参照する。
4. パーキングブレーキケーブル（左右）を取り外す。[「パーキングブレーキ」\(PB-2 ページ\)](#) を参照する。

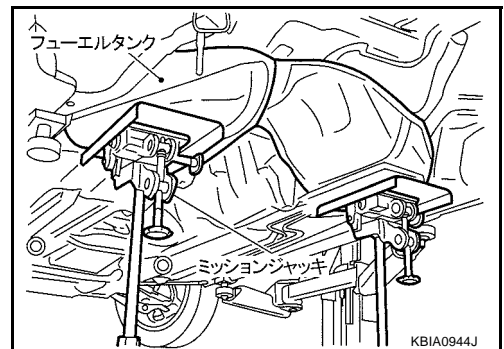
フューエルタンク

5. リヤサスペンション ASSY を取り外す。「[リヤサスペンション ASSY](#)」(RSU-4 ページ) (2WD) 又は、「[リヤサスペンション ASSY](#)」(RSU-18 ページ) (4WD) を参照する。
6. フューエルタンクプロテクターを取り外す。
7. フューエルタンク後方で、フィルターホース、ベントホース、エバポホースを車両配管側で外す。



8. ミッションジャッキでフューエルタンク底面を確実に支え、取付バンドを外す。
 - 取付バンドを避けた位置を木片等で支え、安定した状態を確保する。
9. フューエルタンクを手で支えながら、慎重にミッションジャッキを下げてフューエルタンクを取り外す。

注意: 切り離し忘れた箇所や他部品との干渉がないことを確認しながら取り外すこと。



取り付け

以下に注意して取り外しと逆の手順で行う。

- 各ホースは以下寸法まで挿入する。

フィルターホース	: 35mm
その他	: 25mm

注意: ホースやチューブを曲げたりねじったりしないこと。

- クランプは以下の要領で確実に取り付ける。
- クランプはチューブのバルジ（段差）部分にかからないように取り付ける。
- フィラーホースのクランプ（両端）は締め残しが 8 ~ 12mm になるように締め付ける。

注意: ホースが損傷するのでクランプを必要以上に締め付けないこと。

- クイックコネクターの接続要領は「フューエルゲージ・フューエルフィルター・フューエルポンプ ASSY」[「取り付け」](#)(FL-5 ページ) を参照する。

取り付け後の点検

- 以下の手順で燃料の漏れがないことを確認する。
1. キースイッチを ON（エンジン非始動状態）にし、燃料配管に燃圧をかけた状態で、接続部から燃料の漏れがないことを確認する。
 2. エンジンを始動し、回転を上げた状態で、接続部から燃料の漏れがないことを再度確認する。

サービスデータ

サービスデータ

PF0:00030

基準値、限度値

JBS00EJF

A

燃料タンク容量 (ℓ)	80
-------------	----

締付トルク

JBS00EJG

単位 : N·m { kg·m }

FL

フューエルゲージ	2.0 ~ 2.5 { 0.20 ~ 0.26 }
フューエルタンク取付バンド	37 ~ 49 { 3.8 ~ 5.0 }
フィルターチューブ	10.9 ~ 14.7 { 1.1 ~ 1.5 }
フューエルタンクプロテクター	10.9 ~ 14.7 { 1.1 ~ 1.5 }

C

D

E

F

G

H

I

J

K

L

